



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1728 URL http://www.misawa-chugoku.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南雲 秀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川勝 昌弥 TEL 086-245-3204
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,659	△15.9	△210	—	△170	—	△151	—
2020年3月期第3四半期	18,618	23.6	△92	—	△55	—	△64	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △114百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △72百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△13.13	—
2020年3月期第3四半期	△5.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,312	5,558	32.1
2020年3月期	17,602	5,729	32.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,558百万円 2020年3月期 5,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	△1.1	390	205.5	420	139.8	220	134.0	19.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,540,180株	2020年3月期	11,540,180株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	34,494株	2020年3月期	34,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	11,505,686株	2020年3月期3Q	11,505,686株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在に於いて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な流行により社会・経済活動が急速に悪化したものの、緊急事態宣言解除後には一旦持ち直しの動きが垣間見えました。しかし、ここにきての新型コロナウイルス感染者数の急激な増加により、収束時期の見通しが困難な現況から、個人消費、企業収益の回復期待が薄れ、景気の先行きにつきましては当面の間予断を許さない状況が続くものと思われま

す。住宅業界におきましては、消費増税の反動減の影響もあり新設住宅着工戸数が低水準で推移し、加えて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大が消費マインド低迷に拍車をかけていることも窺われることから、市場全体の受注環境も厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、住宅展示場、建売住宅やマンション等分譲住宅見学会での感染拡大防止策を講じた完全予約制による商談の実施や、Webを中心とした新規顧客獲得など、コロナ禍における新しい受注活動に取り組むことで、住宅市場動向の急速な変化に対応し、住まいに関する多種多様なニーズを捉え、継続的な収益に結び付けるため、将来を見据えた事業ポートフォリオの最適化を目指した取り組みを推進してまいりました。

住宅請負事業におきましては、市場におけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)への関心の高まりに対応するため、ZEH仕様住宅の普及に向けて積極的な受注活動を継続推進するとともに、在宅勤務・学習を快適に、効率的・効果的に行うためのワークスペースや、万一の際の備蓄品確保にも有用な大収納空間「蔵」など工夫やアイデアを盛り込んだ新商品を投入し、住宅展示場の模様替えでの目に見える提案により、ニューノーマル時代に安心して暮らしを楽しむ新しい住まいのニーズの掘り起こしに注力してまいりました。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策のため、住宅展示場や完成現場では、Webによる予約制のイベント見学会にも取り組み、受注活動を行ってまいりました。

分譲事業におきましては、人との接触無く見学いただける分譲住宅の動画配信や、Web予約での分譲地・分譲住宅見学会の集客活動に加えて、ミサワホームブランドの分譲マンション「アルビオ・ガーデン」シリーズについては、当連結会計年度末に完成予定の広島県広島市西区物件を中心に継続販売するほか、広島県福山市においても新たな物件を販売開始するなど、まちづくり事業への取り組みを展開してまいりました。

リフォーム事業におきましては、戸建住宅、アパート、戸建貸家等のオーナー様からの大型リフォーム工事に加え、国が推奨する「長期優良住宅化リフォーム推進事業」による、住宅性能の向上に係るリフォーム工事に取り組んでまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高15,659百万円(前年同期比15.9%減)、営業損失210百万円(前年同期は92百万円の営業損失)、経常損失170百万円(前年同期は55百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失151百万円(前年同期は64百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅(木質、鉄骨、MJ Wood)と賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、戸建住宅の受注減少に伴い、引渡棟数が減少したことから減収減益となりました。

この結果、売上高9,203百万円(前年同期比10.1%減)、セグメント利益9百万円(前年同期は170百万円のセグメント利益)となりました。

②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地、分譲マンションの販売及び買取再生事業によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、住宅用地の販売区画数減少に加えて、新たな分譲マンションの完成がなく、引渡戸数が減少したことにより減収減益となりました。

この結果、売上高2,729百万円(前年同期比35.5%減)、セグメント利益24百万円(前年同期比58.1%減)となりました。

③リフォーム事業

リフォーム事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、大型リフォーム工事を中心に、全般的な工期長期化等の影響もあり、減収減益となりました。

この結果、売上高2,716百万円(前年同期比13.1%減)、セグメント利益316百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。

当第3四半期連結累計期間は、主に手数料収入が減少したことにより、減収増益となりました。

この結果、売上高1,010百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント利益16百万円(前年同期は6百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して290百万円減少しました。これは主に未成工事支出金が295百万円、未成分譲支出金が1,284百万円それぞれ増加する一方、現金預金が927百万円、分譲土地建物が812百万円、その他流動資産が10百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して118百万円減少しました。これは主に未成工事受入金が449百万円増加した一方、工事未払金が134百万円、完成工事補償引当金が130百万円、長期借入金が225百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末と比較して171百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、2020年5月18日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,022,528	5,094,765
完成工事未収入金及び売掛金	108,143	63,096
分譲土地建物	3,475,331	2,662,498
未成工事支出金	1,383,856	1,678,921
未成分譲支出金	1,830,034	3,114,349
貯蔵品	9,342	5,175
その他	429,969	440,386
貸倒引当金	△1,197	△1,056
流動資産合計	13,258,009	13,058,137
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	644,903	566,121
土地	2,467,087	2,403,434
建設仮勘定	—	755
その他(純額)	27,806	21,445
有形固定資産合計	3,139,797	2,991,757
無形固定資産	17,414	14,082
投資その他の資産		
投資有価証券	410,187	391,824
退職給付に係る資産	21,428	27,815
繰延税金資産	275,706	313,226
その他	484,587	520,177
貸倒引当金	△4,402	△4,309
投資その他の資産合計	1,187,508	1,248,734
固定資産合計	4,344,720	4,254,574
資産合計	17,602,730	17,312,712

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,158,236	1,250,326
工事未払金	635,925	501,361
分譲事業未払金	28,164	43,273
短期借入金	4,214,444	4,262,288
未払法人税等	36,989	6,126
未成工事受入金	2,383,235	2,833,190
賞与引当金	230,000	117,350
完成工事補償引当金	287,827	157,291
その他	919,649	849,243
流動負債合計	9,894,472	10,020,450
固定負債		
長期借入金	1,714,681	1,489,175
役員退職慰労引当金	49,700	53,803
退職給付に係る負債	72,199	65,422
その他	141,712	125,434
固定負債合計	1,978,293	1,733,834
負債合計	11,872,766	11,754,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	3,628,152	3,419,504
自己株式	△8,256	△8,256
株主資本合計	5,876,345	5,667,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,058	△15,390
退職給付に係る調整累計額	△126,322	△93,878
その他の包括利益累計額合計	△146,381	△109,269
純資産合計	5,729,964	5,558,427
負債純資産合計	17,602,730	17,312,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,618,640	15,659,125
売上原価	14,914,914	12,537,912
売上総利益	3,703,725	3,121,213
販売費及び一般管理費	3,795,742	3,332,115
営業損失(△)	△92,017	△210,902
営業外収益		
受取利息	3,701	7,011
受取配当金	5,946	6,062
受取手数料	26,374	27,398
販売促進支援金	12,161	10,015
その他	11,650	14,654
営業外収益合計	59,834	65,141
営業外費用		
支払利息	21,017	19,836
その他	2,545	5,155
営業外費用合計	23,562	24,992
経常損失(△)	△55,745	△170,752
特別損失		
固定資産除却損	127	148
減損損失	—	21,290
特別損失合計	127	21,438
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,873	△192,191
法人税、住民税及び事業税	14,679	12,704
法人税等調整額	△5,681	△53,775
法人税等合計	8,998	△41,071
四半期純損失(△)	△64,871	△151,120
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△64,871	△151,120

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△64,871	△151,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,207	4,668
退職給付に係る調整額	6,750	32,443
その他の包括利益合計	△7,456	37,111
四半期包括利益	△72,328	△114,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,328	△114,008

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間末においても新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の収束には至っていないため、当連結会計年度にわたり感染拡大及び事業活動への影響が継続すると仮定し、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づいて繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負 事業	分譲事業	リフォーム 事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	10,242,410	4,234,013	3,125,568	1,016,648	18,618,640	—	18,618,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	593,436	—	593,436	△593,436	—
計	10,242,410	4,234,013	3,719,004	1,016,648	19,212,076	△593,436	18,618,640
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	170,545	58,326	327,756	△6,913	549,714	△641,731	△92,017

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△641,731千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負 事業	分譲事業	リフォーム 事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	9,203,182	2,729,397	2,716,397	1,010,147	15,659,125	—	15,659,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	639,754	—	639,754	△639,754	—
計	9,203,182	2,729,397	3,356,151	1,010,147	16,298,879	△639,754	15,659,125
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	9,531	24,445	316,015	16,200	366,193	△577,095	△210,902

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△577,095千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。